

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	特色ある学校づくり推進事業				担当部	教育委員会事務局									
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	学校教育課								
	事業期間	平成15年度		～	平成31年度以降		担当係	学校教育係								
	総合計画 新基本計画	施策等	3 教育・子育て		12 学校教育		3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します									
			重点事業	○		実施計画事業	○									
	予算区分	款	10		項	1		目	3		大	8		中	4	
	根拠法令・個別計画	小牧市新しい学校づくり推進事業補助金交付要綱 小牧市立学校管理規則														
	目的	何・誰を対象に	学校													
		どの様な状態にするのか	校長の裁量権を拡大することで、その教育方針に基づく特色ある教育活動の展開を可能にし、多様で柔軟な子どもの個性を伸ばすとともに、保護者も含めた地区住民と連携する地域に開かれた学校とする。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成27年度実施内容</p> <p>「新しい学校づくり推進事業」…各小中学校が、児童生徒の「生きる力」の育成を目指して行う独自の事業に対し、補助をした。補助額は、全学校から提出される企画書をもとに、予算の範囲内で審査・査定をするため一律ではない。なお、各学校の企画内容については、毎年、校長による公開プレゼンテーションを実施しており、学校間での情報共有を図っている。校長の裁量で使用できる予算として学校経営の重点項目となっている。</p> <p>企画内容の例：児童の学力向上事業、体験活動、地域・保護者との連携 等</p> <p>「学校評議員」…各学校で、学校評議員会を開催し、意見や助言等を学校運営に反映させた。</p> <p>「公共交通機関利用助成」…校外活動で公共交通機関を利用した場合に、その利用料金の一部を助成した。</p> <p>「夢の教室開催委託」…財団法人日本サッカー協会との協定に基づき、全小学5年生を対象にプロサッカー選手などのトップアスリートを「夢先生」として講師に招き、「夢に向かって努力することの大切さ」などを学ぶ機会を提供した。</p> <p>◆平成27年度直接経費</p> <p>学校評議員等謝礼(1,690千円)</p> <p>夢の教室開催委託(6,000千円)</p> <p>公共交通機関利用助成金(425千円)</p> <p>新しい学校づくり推進事業補助金(19,627千円)</p> <p>※その他財源の内訳</p> <p>地方創生先行型交付金5,000千円・こども夢・チャレンジ基金繰入金1,000千円</p> <p>◆平成28年度直接経費</p> <p>学校評議員謝礼(1,800千円)</p> <p>夢の教室開催委託(6,000千円)</p> <p>特色ある学校づくり推進事業補助金(20,000千円)</p>														
受益者負担	無															

コスト	費用			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額	
		直接経費			千円	22,365	21,975	27,742	27,800
費用	正職員	従事者数	人	0.14	0.14	0.14	0.14		
		人件費	千円	770	770	770	770		
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費	千円	0	0	0	0		
費用合計				千円	23,135	22,745	28,512	28,570	
対前年比				%		98.3	125.3	100.2	
財源	一般財源				千円	23,135	22,745	22,512	22,570
	国・県支出金				千円	0	0	5,000	0
	その他財源				千円	0	0	1,000	6,000

業 績	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
	事業実施校	校	目標		25	25	25	25
			実績		25	25	25	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28	
	事業実施校	校	目標		25	25	25	25
			実績		25	25	25	
		目標						
		実績						

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	学校独自の課題(学力向上、いじめ・不登校、外国人児童生徒など)に対する取り組みや、外部からの意見・助言を得るなどして、各校で特色ある取り組みを推進できた。また、「地元農家の協力を得ての農作物の栽培」、「お年寄りを招いての昔話・遊びの体験」等、複数年にわたり地域とともに活動する事業を行っており、地域、保護者、学校の連携が強まるとともに、親、子、地域ともに「お互いの理解が深まるなど」などの意見もあり、満足度が高い事業である。					
		事業実施における課題	地域へのより一層の周知をするため、新しい学校づくり推進事業で行っている取り組みを様々な方法でPRする機会を増やす。また、親、子、地域の各校に対する満足度を維持するため、継続的に取り組むことが必要となる事業である。					
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	学校ごとに、特色ある教育活動を展開し、多様で柔軟な子どもの個性を伸ばすとともに、保護者も含めた地区住民と連携する地域に開かれた学校を目指すことにより、教育の今日的な課題や小牧市の特色に対応した教育を進めることができる。					
		平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	引き続き、各学校がおこなっている事業について、学校HPでの公開、PTA総会等での紹介等、学校から直接地域への発信をする機会を増やす。 ・公共交通機関利用助成については、少額補助で効果が低いと判断したため、27年度をもって廃止した。				
		平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	各校で独自の取り組みが実施され、特色ある学校づくりや地域とともに歩む学校づくりに必要であるため、現状維持と判断した。					
		29年度以降の改善案	今後も事業を継続して実施するとともに、より地域との交流が活発になり、開かれた学校となるよう、学校側に更なる自覚を促す。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持